



「北の道ナビ」における 経路情報提供の効果について



独立行政法人
土木研究所 寒地土木研究所
Civil Engineering Research Institute for Cold Region

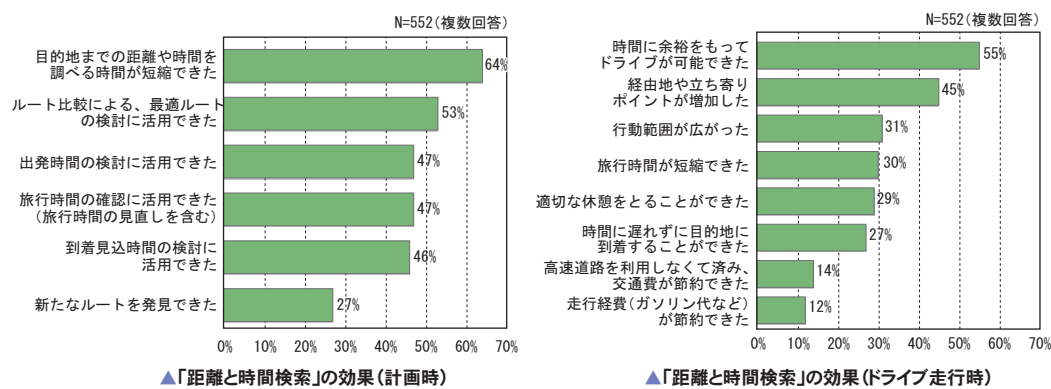
地域景観ユニットの取り組み

北海道の道路情報総合案内サイト「北の道ナビ(http://n-rd.jp/)」に、「距離と時間検索」という機能があります。この機能は、出発地と目的地を指定して検索すると、距離や所要時間、経路などを表示するものです。大変多くの方々に利用されています。

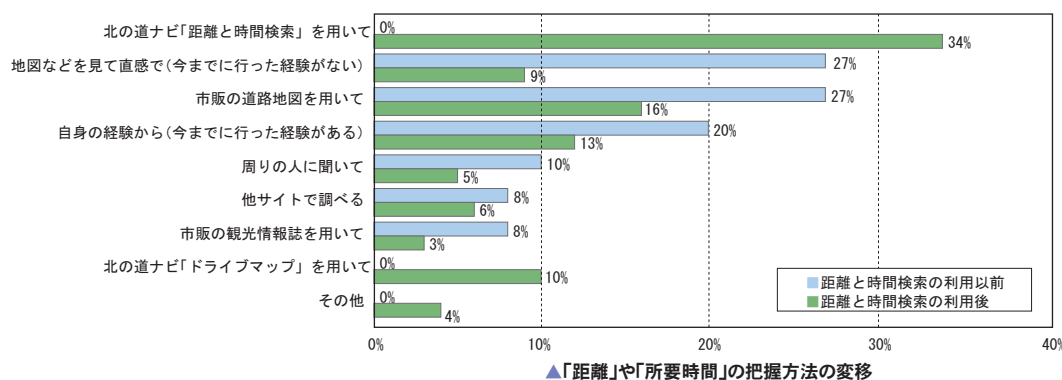
これまでの「距離と時間検索」機能の効果

Webアンケートを行った結果、ドライブの計画時は「目的地までの距離や時間を調べる時間が短縮できた」が最多。

ドライブ時には「時間に余裕をもってドライブが可能できた」が最も多く、また、「経由地や立ち寄りポイントが増加した」にも多く回答が寄せられたことから、安全性・安心感の向上とともに、地域振興支援などの効果も期待できることを示唆しています。



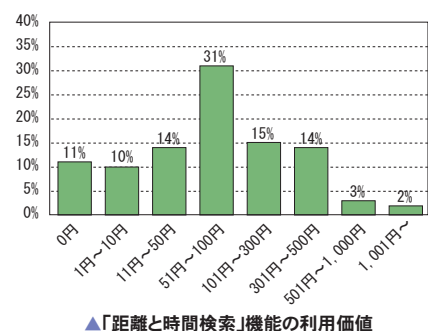
さらに、この機能を利用する以前と利用後で、どのように「距離」や「所要時間」を把握していたかを調査した結果、この機能を知る以前は、「地図などを見て直感で(今までに行った経験がない)」と「市販の道路地図を用いて」という回答が一番多く、次に「自身の経験から(今までに行った経験がある)」でしたが、知った後では「北の道ナビ「距離と時間検索」を用いて」が最も多くなりました。このことから、この機能の利便性は高いと考えます。



これまでの「距離と時間検索」機能の価値

ドライブ計画に「距離と時間検索」を使用する場合の利用価値について「利用料金」に置き換えて調査した結果、1度のドライブ計画を作成するにあたっての支払い意志額の平均値が約206円でした。

これは、1回のドライブ計画を作成するにあたり、検索を5回行うと想定した場合、平成19年度の「距離と時間検索」の年間検索実行回数約295万回から、年間の総利用価値を推計すると約1億2千万円と試算することができます。



まとめ

●まとめ

- ①「距離と時間検索」の具体的な効果は、ドライブの計画時は「目的地までの距離や時間を調べる時間が短縮できた」が最も多く64%、ドライブ時には「時間に余裕をもってドライブが可能できた」が最も多く55%でした。
- ②今まで「所要時間」などの把握は直感や過去の経験など、個人の主観に頼っていたものが、「距離と時間検索」を用いることにより、定量的かつ客観的な把握が可能となりました。
- ③「距離と時間検索」機能の価値は、1度のドライブ計画作成に当たっての支払い意志額の平均値が約206円であり、これを基に年間の総利用価値を推計すると、約1億2千万円と試算することができました。

高度化(リニューアルのポイント)

ポイント① 検索がより使いやすく。

検索の入力枠を縦型にし、わかりやすいマップもすぐ右側配置して、出発地・目的地・経由地の指定が容易になりました。また、検索条件などを変更したときの再検索も簡単になりました。

ポイント② 通行止め(国道)が表示。

経路上で実施している「通行止め」情報(国道)を表示するようにして、異常気象時などの経路検討が容易になりました。

ポイント③ 「走りやすさ」や峠情報を表示。

経路の「道路の走りやすさ」情報や、経路上の「峠画像」情報一覧を表示し、走りやすさや気象状況を考慮した経路検討が容易になりました。

ポイント④ 「道の駅」からのお知らせが追加。

経路上の「道の駅からのお知らせ」情報や「景観ポイント」「市町村」情報を表示して、ドライブ観光の検討が容易になりました。



新しく高度化した距離と時間検索結果

●その他の結果を以下に示す

- ④「距離と時間検索」は、検索結果の精度も概ね妥当で、利便性も高いため多くの利用者に利用されていることが明らかになりました。
- ⑤「距離と時間検索」の検索結果で、一番重要と思われるものは「通行止めなど規制状況がわかる情報」が29%と最も多くなりました。
- ⑥これらの調査結果を踏まえ、北の道ナビ「距離と時間検索」機能の高度化を行いました。